

介護保険事業計画に記載した「取組と目標」等の取組状況及び自己評価結果等(令和4年度分)

市町村名
鏡野町

「週に〇回」、
「月に〇回」、
「〇か月に〇回」等

◎ 岡山県介護保険事業支援計画に記載の「取組と目標」に関する事項

1 自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

(1) 多職種協働による地域ケア個別会議

①定期開催 定例化(月1回以上)	②開催回数 7回	③研修修了者数 2	④自己評価 月1回の開催を予定していたが、目標を達成することができなかった。	⑤課題、今後の方針等 年間スケジュールに基づき、日程調整の上、月1回の定例会議を開催する。	⑥令和5年度の予定 定例会議を月1回開催する。
				開催頻度→ 定例化→	月1回 定例化している

(2) 通いの場(週1回以上、住民運営で体操を行うもの)

①「住民主体で週1回以上」の箇所数 53箇所	②左のうち体操を行う箇所数 53箇所	③参加率 11%	④自己評価 新型コロナウイルス感染症の影響で実施団体は増えていない。	⑤課題、今後の方針等 通いの場までの交通手段が課題となっている。体操だけでなく、サロンも含め通いの場を広げていく。	⑥令和5年度の予定 感染症対策を行いながら、60カ所を目標とする。
---------------------------	-----------------------	-------------	---------------------------------------	--	--------------------------------------

(3) 担い手等：リハビリテーション専門職、生活支援コーディネーター及び通所付添サポーター

分子…介護予防・日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況(公表データ)の「通いの場参加者実人数」
分母…65歳以上人口

①支援リハビリテーション専門職人数 0人	②生活支援コーディネーター人数 2人	③通所付添サポーター人数 0人	④自己評価 日常圏域を2箇所とし、コーディネーターを配置している。R4年度はリハビリ専門職を確保できなかった。	⑤課題、今後の方針等 リハビリ専門職の確保が課題となっている。	⑥令和5年度の予定 リハビリ専門職を確保し、介護予防へ関与する。
-------------------------	-----------------------	--------------------	--	------------------------------------	-------------------------------------

2 介護給付の適正化に関する取組と目標

(1) 適正化主要5事業の実施実績

①要介護認定の適正化 有り	②ケアプラン点検 有り	③住宅改修・福祉用具実態調査 有り	④縦覧点検・医療情報との突合 有り	⑤介護給付費通知 有り	⑧令和5年度の予定 引続き適正化に取り組む。
------------------	----------------	----------------------	----------------------	----------------	---------------------------

(2) ケアプラン点検

①点検実施数 33	②ケアプランの全数 4,153件	③アドバイザー派遣受入実績 無し	④アドバイザー派遣の受入が無い場合、実績が無い理由、今後の方針等 ケアプラン点検は適切に実施できていると考えており、必要としていない。	⑦課題、今後の方針等 ケアプラン点検ソフトを有効活用する。	⑧令和5年度の予定 ケアプラン50件を点検する。
実施率(①/②) 0.8%		⑤目標(数値等) 50件	⑥自己評価 実地指導を11カ所実施し、1箇所あたり3件程度点検している。		

介護保険事業計画に記載した「取組と目標」等の取組状況及び自己評価結果等（令和4年度分）

市町村名
鏡野町

◎ 市町村介護保険事業計画に記載した「取組と目標」に関する評価等

1 自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
介護予防	介護予防普及啓発事業	フェスティバル開催1回	4年度はコロナウイルス感染症の影響で開催できなかったが、普及啓発DVD、社協だより、包括通信等で介護予防普及啓発を図った。	フェスティバルの開催に代えて介護予防普及啓発を行った。	多様な普及啓発の手段を検討する。
介護予防	介護予防に関するボランティアの育成	介護予防サポーター84人	コロナウイルス感染症の影響で介護予防サポーター養成講座は開催していないが、84人のサポーターが登録されている。	介護保険サポーター84人を確保した。	介護予防サポーター養成講座を実施する。
介護予防	通いの場の支援	週1回以上、住民主体で体操が行われている通いの場60箇所	通いの場の立ち上げを支援し、53箇所となっている。	実施地区を増やすよう普及に努めたが、目標は達成できなかった。	普及のための効果的なアプローチを検討し、活動している通いの場へは、活動意欲が持続するよう働きかける。
自立支援	生活応援隊	生活応援隊養成講座1回	ゴミ出し、買い物等の日常生活に支援を必要とする高齢者を地域住民が支えるボランティア	養成講座は開催できなかったがし、個別に当たり登録者を確保した。	緩和基準の訪問サービスとのすみわけを確認する。

2 介護給付の適正化に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
給付適正化	住宅改修の点検	全件	全件について、申請書の添付書類により点検を行った。	複数の職員で点検し、適切な住宅改修となっている。	住宅改修業者及びケアマネと入念な協議を重ねる。
給付適正化	縦覧点検	全件	国保連に委託し、請求疑義に対応した。	請求の誤り等の是正を図ることができた。	引続き、国保連に委託して実施する。